

目的：大阪市外の検案について、関係機関との連携による警察医等の検案サポートを行い、警察医等の負担軽減を図りつつ、死因診断レベルの向上、大阪市内外の均てん化につなげていく。

《2019年度の実績》

- ① 監察医検案の同行提供等による検案技術向上支援
 - ・利用状況 4名(1月末現在)
- ② 死体検案相談事業〔厚労省〕 今年度内実施予定
- ③ 検案要請の書式統一 R1.8月～ 運用開始
- ④ 検案サポートの検討、調整(府警、警察医会、府、大学)

大阪市外全域（全警察医等）に対応

⇒検案件数の増、不規則・多忙時の負担、事故補償など、**各警察医や地域の事情に踏まえた負担軽減策**が必要。

《2020年度の取組み案》

- ① 継続 監察医検案の同行提供等による検案技術向上を支援
- ② 継続 死体検案相談事業〔厚労省〕の活用
- ③ 充実 **検案要請時の医療機関等からの病歴情報の実効性ある収集方法の検討**
- ④ 新規 **検案サポートの強化**

(進め方) ・現状把握(サポートの要否、内容等)→関係機関(府警、警察医会、医師会等)によるWG設置し、アンケート調査を実施
 ・対応協議 →サポート内容、運用等に関する関係者間の調整、合意
 ・協議結果等を踏まえ、サポート体制を構築

<検案サポート強化（関係機関の連携）のイメージ>

